

上郡町の偉人

大鳥圭介

「鵬程万里」第十八回

著者 中川由香

二〇〇三年に私が上郡町を訪問し、役場の大鳥圭介銅像を尋ねた際は、その名から漫才師を彷彿させる方ばかりでした。それから十二年。

上郡町は左下にある表のとおり、多岐にわたる大鳥圭介顕彰活動を実施し、地域振興のモデルとなる活動を継続。顕彰活動をおして上郡町自身が揺るがない地域の価値を築いており、地元メディアからも注目されています。今や上郡町で大鳥圭介の名を知らぬ方はいないでしょう。

数々の活動の中、特に大鳥圭介交流活動の金字塔として、①いきいき交流ふるさと館、②生家跡の地域が発信するウェブページ「大鳥圭介の誕生地おらが村」、③漫画「けいすけじゃ」とそのアニメ制作、そして④毎年五月開催の「圭介まつり」の四点は、上郡の有形・無形財産といえます。

「いきいき交流ふるさと館」は、老朽化し二〇〇四年の台風で被害を受けた圭介生家を、元の柱や梁などを活用しながら建て直したものです。赤松地区連合自治会と上郡町役場の協力のもと、県民交流広場事業助成金への申請や資金集めの奔走など、地域の方々の苦勞の末に完成しました。二〇一一年の没後百周年以降、大鳥圭介の広報、資料保管整理、講演、顕彰活動の拠点として自治会の方々を中心に活動を継続。二〇一五年十二月までに累計二百五十四回の来訪者受け入れを行い、見学来館者は述べ八千人を超えました。圭介まつりや圭介生誕地を歩く会の開催など、地域活動の本拠地にもなっています。

上郡町の主な大鳥圭介顕彰活動履歴

年	月	活動
1993	3	上郡民報漫画「けいすけじゃ」半沢裕人氏連載開始
1998	3	大鳥圭介書簡集編纂
2003	8	「大鳥圭介の生誕地おらが村」ウェブページ発信開始
2004	5	石戸で圭介まつり（以降、毎年開催）
2006	6	赤松小学校竹本校長先生石戸学習会（以降、継続実施）
	通年	圭介の通った滝の道「小皆坂の滝」有志による整備
2007	1	小学五年生赤松郷土学習 大鳥圭介講義
	11	白旗城まつり写真展大鳥圭介コーナー
2008	3	「大鳥圭介公を語るフォーラム」講師 高崎哲郎氏
	10	大鳥圭介生家、老朽化のため解体
2009	3	郷土資料館、第一回大鳥圭介書簡展開催
	8	大鳥圭介生家跡地鎮祭
	8	石戸公民館で大鳥圭介学習会開催
	9	閑谷学校歴史探訪、大鳥圭介生家跡
2010	10	県民交流広場事業「圭介そば料理講習」開催
	1	いきいき交流ふるさと館ふれあい喫茶オープン
	2	大鳥圭介生誕地を歩く電車&ウォーク開催
	3	大鳥圭介生家跡いきいき交流ふるさと館竣工式
2011	4	アニメ「けいすけじゃ」制作開始
	1	大鳥圭介塾 猪尾塾長、岩木構造改良センターで講演
	3	まちぶら東備西播「圭介の郷を訪ねる」ウォーク開催
	5	没後百年記念 大鳥圭介公を語るフォーラム、けいすけじゃアニメ公開
	6	えんしんネット「けいすけじゃ」アニメ放送開始
2012	7	駅前整備、観光案内所に「けいすけじゃ」看板設置
	10	東備西播文化財巡りツアー 生家跡訪問
	10	郷土資料館「軍人の如楓 文人の如楓」展
	12	町 PTCA フォーラム赤松小学校大鳥圭介寸劇
2013	5	上郡高校生の醸造した「大鳥圭介純米酒」を販売
	5	アニメ「けいすけじゃ」DVD完成
	6	町商工会青年部らが箱館五稜郭祭参加
2014	6	NHK「ニュース KOBE 発 ふるさとキャラバン」に猪尾塾長らが出演
	10	大鳥圭介生誕百八十年記念「軍人の如楓 文人の如楓2」展
	1	地域活力増進事業 町商工会「大鳥圭介の魅力に迫る」講演会
2015	1	講師 星 亮一氏
	8	赤穂市歴史探訪、猪尾塾長講演「大鳥圭介 人と生涯」
2015	10	郷土資料館「大鳥圭介講座」全五回開講（以降、毎年実施）
	5	アニメ「けいすけじゃ」オプトピア特別上映
	7	町文化協会発表会
	2	圭介漢詩「日本刀」「偶成」「度刀根川」を詠う
2015	2	町まちづくり塾が大鳥圭介読本「かえで」発行
	5	いきいき交流ふるさと館で知事とのさわやかトーク開催
	10	大鳥圭介主役小説「死んでたまるか」伊東潤氏講演会
	10	第1回大鳥圭介検定実施

同館は大鳥圭介に関する史料を収集し、多彩なイラストと共に人物、分野、時代のテーマごとにまとめており、大鳥圭介研究の拠点としても機能しています。膨大なファイルの数に、来館者は度肝を抜かれます。資料をまとめた猪尾塾長は、大鳥圭介塾を開催。教育委員会とも協

力しこれまで五十三回の講演を行い、上郡町内外の大鳥圭介や地域史への理解を深め続けています。圭介の功績は、工学・産業・制度・教育・社会科学の多岐に渡るため、史料は散逸し、その理解には深い専門性が必要です。そのためこれまで再評価が進まなかった面もありました。「いきいき交流ふるさと館」は大鳥圭介研究の拠点としても、多面的に功績をまとめ発信する大きな役目を果たしています。「学び」だけではなく、その姿勢を歓迎する館の「おもてなし」に心打たれる方も多いです。

（二〇一六年五月号に続く）